

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「あおぞら・世界配当成長株ベガ・ファンド（毎月分配型）“愛称くらだし”」は、去る4月27日に第54期の決算を行いましたので、法令に基づいて運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

あおぞら・世界配当成長株ベガ・ファンド （毎月分配型）

愛称 **くらだし**

■本ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2025年10月27日まで
運用方針	主として、日本を含む世界の株式等に投資を行うことで、インカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ケイマン籍外国投資信託受益証券（円建て） TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデント・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス ・親投資信託 あおぞら・マネー・マザーファンド
運用方法	①主として、日本を含む世界の主要取引所に上場されている株式等（預託証券（DR）、上場投資信託（ETF）および不動産投資信託（REIT）等を含みます。）を主要投資対象とする別に定める投資信託証券に投資を行います。 ②上記に定める株式等は、主として相対的に配当利回りおよび増配の可能性が高いと判断されるものとします。 ③外国籍投資信託証券の組入比率は原則として高位を保ちます。 ④外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は分配を行わない場合があります。

運用報告書（全体版）

第9作成期

決算日

第49期	2019年11月25日	第52期	2020年2月25日
第50期	2019年12月25日	第53期	2020年3月25日
第51期	2020年1月27日	第54期	2020年4月27日

あおぞら投信株式会社

AOZORA

東京都千代田区麹町6-1-1

■ホームページアドレス

<http://www.aozora-im.co.jp/>

■お問い合わせ先

<お問い合わせ窓口>

03-6752-1051

受付時間：

営業日の午前9時から
午後5時まで

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額 (分配落)	税金	入金	期騰落	中率	債組入比	券率	投資信託 証券比率	純総	資産 産額
第5作成期	第25期 (2017年11月27日)	5,875		150	△	2.4	—	—	99.2		4,126
	第26期 (2017年12月25日)	5,896		150		2.9	—	—	99.2		4,080
	第27期 (2018年1月25日)	5,767		150		0.4	—	—	98.9		3,857
	第28期 (2018年2月26日)	5,262		150	△	6.2	—	—	99.0		3,516
	第29期 (2018年3月26日)	4,840		150	△	5.2	—	—	98.1		3,265
第6作成期	第30期 (2018年4月25日)	4,832		150		2.9	—	—	98.8		3,300
	第31期 (2018年5月25日)	4,747		150		1.3	—	—	99.2		3,307
	第32期 (2018年6月25日)	4,570		150	△	0.6	—	100.2		3,169	
	第33期 (2018年7月25日)	4,562		150		3.1	—	—	98.9		3,050
	第34期 (2018年8月27日)	4,582		100		2.6	—	—	96.9		3,202
第7作成期	第35期 (2018年9月25日)	4,528		100		1.0	—	—	98.2		3,040
	第36期 (2018年10月25日)	3,990		100	△	9.7	—	—	99.1		2,642
	第37期 (2018年11月26日)	3,961		100		1.8	—	—	98.8		2,600
	第38期 (2018年12月25日)	3,538		100	△	8.2	—	—	99.2		2,309
	第39期 (2019年1月25日)	3,619		50		3.7	—	—	98.7		2,359
第8作成期	第40期 (2019年2月25日)	3,731		50		4.5	—	—	98.0		2,162
	第41期 (2019年3月25日)	3,636		50	△	1.2	—	—	98.1		2,015
	第42期 (2019年4月25日)	3,662		50		2.1	—	—	98.0		1,940
	第43期 (2019年5月27日)	3,567		50	△	1.2	—	—	97.9		1,809
	第44期 (2019年6月25日)	3,575		50		1.6	—	—	98.4		1,780
第9作成期	第45期 (2019年7月25日)	3,576		50		1.4	—	—	99.4		1,749
	第46期 (2019年8月26日)	3,340		50	△	5.2	—	—	99.4		1,619
	第47期 (2019年9月25日)	3,440		50		4.5	—	—	97.5		1,615
	第48期 (2019年10月25日)	3,460		50		2.0	—	—	98.2		1,608
	第49期 (2019年11月25日)	3,452		50		1.2	—	—	99.0		1,566
第9作成期	第50期 (2019年12月25日)	3,471		50		2.0	—	—	97.4		1,533
	第51期 (2020年1月27日)	3,421		50		0.0	—	—	99.5		1,503
	第52期 (2020年2月25日)	3,274		50	△	2.8	—	—	97.3		1,434
	第53期 (2020年3月25日)	2,311		20	△	28.8	—	—	98.2		1,001
	第54期 (2020年4月27日)	2,411		20		5.2	—	—	99.4		1,043

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み、純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注2) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、日本を含む世界の主要取引所に上場されている、相対的に配当利回りが増配（配当成長）の可能性が高いと判断される株式等に投資を行うことを基本方針としております。また、株式カバー戦略および通貨カバー戦略を活用し、オプション・プレミアム（オプション売却の対価として受け取る権利料）の獲得を目指します。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

(注3) 本ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率は実質組入比率を記載しています。

■当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		債 組 入 比	券 率	投 証 資 信 託 率
		騰 落 率	率			
第49期	(期 首) 2019年10月25日	円	%		%	%
	10月末	3,460	—		—	98.2
	(期 末) 2019年11月25日	3,491	0.9		—	97.9
第50期	(期 首) 2019年11月25日	3,502	1.2		—	99.0
	11月末	3,452	—		—	99.0
	(期 末) 2019年12月25日	3,479	0.8		—	98.8
第51期	(期 首) 2019年12月25日	3,521	2.0		—	97.4
	12月末	3,471	—		—	97.4
	(期 末) 2020年 1 月27日	3,484	0.4		—	97.1
第52期	(期 首) 2020年 1 月27日	3,471	0.0		—	99.5
	1 月末	3,421	—		—	99.5
	(期 末) 2020年 2 月25日	3,378	△ 1.3		—	99.3
第53期	(期 首) 2020年 2 月25日	3,324	△ 2.8		—	97.3
	2 月末	3,274	—		—	97.3
	(期 末) 2020年 3 月25日	3,101	△ 5.3		—	96.8
第54期	(期 首) 2020年 3 月25日	2,331	△28.8		—	98.2
	3 月末	2,311	—		—	98.2
	(期 末) 2020年 4 月27日	2,365	2.3		—	98.2
		2,431	5.2		—	99.4

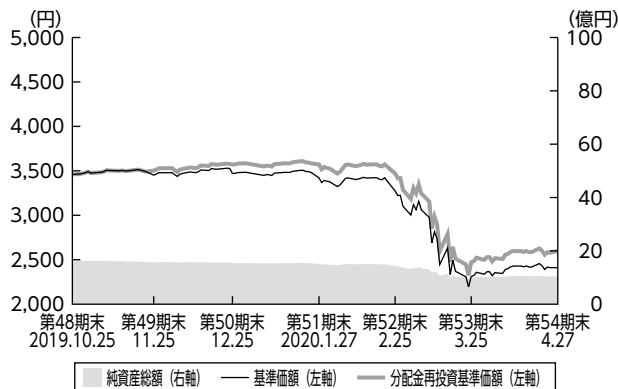
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 本ファンドは複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズです。本ファンドは、日本を含む世界の主要取引所に上場されている、相対的に配当利回りと増配(配当成長)の可能性が高いと判断される株式等に投資を行うことを基本方針としております。また、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略を活用し、オプション・プレミアム(オプション売却の対価として受け取る権利料)の獲得を目指します。このため、本ファンドの収益率を測る適切なインデックスが存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

(注3) 本ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率は実質組入比率を記載しています。

■運用経過（2019年10月26日～2020年4月27日）

基準価額等の推移



第49期首：3,460円
 第54期末：2,411円（既払分配金240円）
 騰落率：△24.9%（分配金再投資ベース）

- *分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- *分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- *分配金再投資基準価額は、期首（2019年10月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- *上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、当作成期末において2,411円となり、当作成期のリターンは24.9%（信託報酬控除後、分配金再投資後）の下落となりました。当作成期においては、通貨オプション戦略要因はほぼ中立でしたが、株価の急落によって配当成長株式要因が大幅マイナス寄与となったことに加え、株価の急反発局面で株式オプション戦略要因も大幅マイナスとなったほか、為替要因もマイナス寄与となりました。

投資環境

<株式市場>

当作成期半ばまでは、雇用関連をはじめ堅調な米国経済指標や好調な企業決算に加えて、米中通商協議を巡る第一段階合意が好感され、米国株式市場が過去最高値を更新したほか、英総選挙でジョンソン英首相率いる保守党が過半数を獲得し、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱回避への道筋が見えたことを背景に、先進国株式市場は上昇基調で推移しました。しかし、2020年1月以降、中国・武漢で発生した新型コロナウイルスを巡り、欧米での感染者数／死者数が急増するなど、世界的な感染拡大への警戒が急速に強まると、ヒトとモノの移動制限に伴う経済活動の停滞と企業業績の下振れへの警戒から、投資家のリスク回避姿勢が急速に強まる中、パニック的な投げ売りが見られて急落しました。ただ、FRB（米連邦準備制度理事会）を始めとする主要中央銀行による矢継ぎ早で前例のない金融緩和策や、各国政府による大規模経済対策への期待から、当作成期末にかけて、先進国株式市場は下落幅を縮小する展開となりました。

<為替市場>

当作成期半ばまでは、米中通商協議を巡って1ドル=107円台から109円台の狭いレンジで神経質な展開が続いた後、第一段階合意への最終署名や、堅調な米国経済指標と企業業績を背景に112円台まで円安が進みました。しかし、新型コロナの世界的な感染拡大への警戒から、投資家のリスク回避姿勢が急速に強まったことを受けて、一時101円台まで円が急伸びしましたが、投資家が保有資産を現金化する動きを活発化させ、現金としての米ドル需要が高まると、111円台まで急速に戻すなど値動きの荒い展開となりました。その後

は、主要中央銀行や各国政府による積極的な金融・財政政策を背景に、金融市場が落ち着きを取り戻す中、当作成期末にかけて107円台まで円高傾向が続く展開となりました。

<短期金融市場>

短期金融市場においては、日銀がマイナス金利政策を継続する中、無担保コール翌日物がマイナス圏で推移したほか、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りが-0.35%前後から-0.05%前後で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオ

本ファンドの運用方針に従い、主要投資対象であるケイマン籍円建て外国投資信託受益証券「TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス」への組入れ比率を高位に保つことで、主として、世界の主要取引所に上場されている、相対的に配当利回りと増配（配当成長）の可能性が高いと判断される株式等に投資を行うと同時に、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略を活用してオプション・プレミアム（オプション売却の対価として受け取る権利料）の獲得を目指すことで、インカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

組入ファンドにおける当期の運用状況は以下の通りです。

<TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス>

S & P 500配当貴族指数およびS & Pグローバル配当貴族指数の構成銘柄を中心として、世界の主要取引所に上場されている相対的に配当利回りが高く増配（配当成長）の可能性が高いと判断される株式等を組み入れると同時に、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略を活用してオプション・プレミアム（コール・オプション売却の対価として受け取る権利料）の獲得を目指すことで、インカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。2020年3月末時点の組入銘柄数は38銘柄、加重平均配当利回りは3.5%（年率）となっています。

一方、株式カバードコール戦略は、組み入れている38銘柄に対してコール・オプションを売却し、2020年3月末時点でのカバー率は75.9%、オプション・プレミアムは37.7%（年率）、平均行使価格は88.8%、平均行使期間は21.3日となっています。

また、通貨カバードコール戦略に関しては、2020年3月末時点でのカバー率は95.6%、オプション・プレミアムは7.2%（年率）、平均行使価格は99.3%、平均行使期間は33.9日となっています。

<あおぞら・マネー・マザーファンド>

本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。主要投資対象となっていた第336回利付国債（2年）が2016年1月に償還を迎えた後、有担保コール翌日物および金銭信託による運用を続けてきましたが、当期末時点では有担保コール翌日物が主要投資対象となっています。

当該投資信託のベンチマークとの差異

本ファンドは運用の目標となるベンチマークや参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

分配金（1万口当たり、税引前）

本ファンドの収益分配方針に従い、基準価額水準や市場動向等を勘案し第49期から第52期まで各期50円、第53期から第54期まで各期20円の収益分配を行いました。

分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

	第49期		第50期		第51期		第52期		第53期		第54期	
	自 至	2019年10月26日 2019年11月25日	自 至	2019年11月26日 2019年12月25日	自 至	2019年12月26日 2020年1月27日	自 至	2020年1月28日 2020年2月25日	自 至	2020年2月26日 2020年3月25日	自 至	2020年3月26日 2020年4月27日
当期分配金		50		50		50		50		20		20
（対基準価額比率）		1.428		1.420		1.441		1.504		0.858		0.823
当期の収益		39		39		38		37		6		11
当期の収益以外		10		10		11		12		13		8
翌期繰越分配対象額		1,723		1,768		1,813		1,863		1,892		1,924

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<本ファンド>

今後も当初の運用方針に従い、主要投資対象であるケイマン籍円建て外国投資信託受益証券「TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス」への組入れ比率を高位に保つことで、主として、世界の主要取引所に上場されている、相対的に配当利回りと増配（配当成長）の可能性が高いと判断される株式等に投資を行うと同時に、株式カバードコール戦略および通貨カバードコール戦略を活用してオプション・プレミアム（オプション売却の対価として受け取る権利料）の獲得を目指すことで、インカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

<TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス>

過去数週間、世界中で新型コロナウイルスの感染拡大を受けて株価が暴落を繰り返す中、それに対処するために主要中央銀行が前例のない規模の金融緩和策を矢継ぎ早に打ち出したことによって、世界の株式市場はかつてないほどの株価乱高下を繰り返しました。3月中旬ごろの感染ピークと、その後の経済活動再開への期待が株価に織り込まれ、株式市場はパニック状態から急回復しましたが、株式市場は今、新型コロナからの回復力の程度や力強さについての難題に直面しています。事実上、ほとんどの先進国において経済活動が全面的に停止されたことによって、今後発表される多くの経済指標が過去最悪レベルの落ち込みを示すものになるでしょう。FRBをはじめとする主要中央銀行は、低迷する経済活動を下支えするために金融緩和策を積極的に打ち出してきましたが、悪化した消費者行動／心理を金融／財政政策だけで急回復させることは不可能で、経済活動の低迷がより長引く可能性がある反面、株式市場はいち早く経済活動の再開を織り込みに行く可能性もあると考えています。

一方で、特定の企業やセクターについては、このニューノーマル（新常态）の恩恵を受ける、もしくはより早く回復する可能性があると考えています。既に、長期的にリスク対比で良好なリターンを期待できる魅力的な投資機会を、好配当銘柄の中から見出しています。投資基準に合致した投資対象の中から最も魅力的な銘柄を着実に選別するために、引き続き、企業ファンダメンタルズをボトムアップで個別に分析・評価することに注力し続ける方針です。

加えて、何年にも亘って過去最低水準にあったインプライド・ボラティリティ（予想変動率）が、2月以降、急上昇しています。その結果、本ファンドで活用しているカバードコール戦略において、ようやくまとまったオプション・プレミアムを得ることができました。2月から3月にかけて見られたように、しばらくの間、実現ボラティリティがインプライド・ボラティリティを上回り続ける可能性があります。長期的にみればこのような逆転現象が続くことはないだろうと考えています。カバードコール戦略は長きに亘ってあまりプラスに寄与できず当初の期待ほどは機能しませんでした。株価変動率の上昇に伴うオプション・プレミアムを獲得することによって、有利に働く時が来たかと期待しています。また同時に、このような局面においては可能な限り下振れリスクの軽減にも努めていく方針です。

<あおぞら・マネー・マザーファンド>

今後も当初の運用方針に従い、引き続き、本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細（2019年10月26日～2020年4月27日）

項目	第49期～第54期		項目の概要
	金額	比率	
	円	%	
(a) 信託報酬	19	0.575	(a) 信託報酬＝〔当作成期間中の平均基準価額〕×信託報酬率 当作成期間中の平均基準価額は3,216円です。
（投信会社）	(9)	(0.281)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(9)	(0.281)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	3	0.099	(b) その他費用＝ $\frac{〔当作成期間中のその他費用〕}{〔当作成期間中の平均受益権口数〕}$
（監査費用）	(1)	(0.025)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(2)	(0.074)	目論見書等の法定書類の作成・印刷・届出および交付に係る費用ならびにファンドの計理業務およびこれらに付随する業務に係る費用
合計	22	0.674	

（注1）当作成期間中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

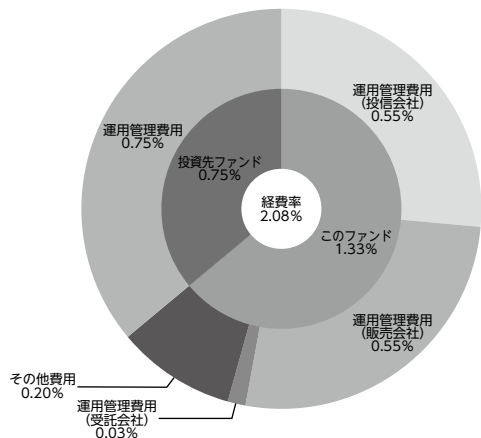
（注3）「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）」を当作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（注4）各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は2.08%です。



経費率 (①+②)	2.08%
①このファンドの費用の比率	1.33%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%

（注1）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。

（注3）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注4）各比率は、年率換算した値です。

（注5）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

（注6）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

（注7）①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況 (2019年10月26日から2020年4月27日まで) 投資信託証券、投資証券

銘柄名	買付		売付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外 イ マ 国 シ TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・ プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス	□ 107,283	千円 224,702	□ 85,357	千円 200,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等 (2019年10月26日から2020年4月27日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の支払いはありません。

■第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年10月26日から2020年4月27日まで) 該当事項はございません。

■委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券の自己取引状況 (2019年10月26日から2020年4月27日まで) 該当事項はございません。

■組入資産の明細 (2020年4月27日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末			
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
(ケイマン) TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・ プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス	□ 651,914	□ 673,839	千円 1,037,039	% 99.4
合 計	651,914	673,839	1,037,039	99.4

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 比率欄は純資産総額に対する比率。

(2) 親投資信託残高

銘	柄	前作成期末		当作成期末	
		□	数	□	数
			千□		千円
あおぞら・マネー・マザーファンド			99		99

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 親投資信託の受益権総口数は100,291千口です。

■投資信託財産の構成

2020年4月27日現在

項	目	当作成期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
投資信託受益証券		1,037,039	98.5
あおぞら・マネー・マザーファンド		99	0.0
コール・ローン等、その他		16,033	1.5
投資信託財産総額		1,053,171	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項	目	第49期末 2019年11月25日	第50期末 2019年12月25日	第51期末 2020年1月27日	第52期末 2020年2月25日	第53期末 2020年3月25日	第54期末 2020年4月27日
(A) 資	産	1,593,733,153円	1,564,411,753円	1,534,462,749円	1,461,452,499円	1,013,364,573円	1,053,171,781円
	コール・ローン等	42,523,043	40,274,599	38,546,963	66,455,239	29,721,681	16,032,913
	投資信託受益証券(評価額)	1,551,110,469	1,494,037,523	1,495,816,155	1,394,897,639	983,543,281	1,037,039,267
	あおぞら・マネー・マザーファンド(評価額)	99,641	99,631	99,631	99,621	99,611	99,601
	未 収 入 金	-	30,000,000	-	-	-	-
(B) 負	債	27,547,848	30,698,744	31,360,888	27,334,029	11,994,364	9,926,090
	未 払 収 益 分 配 金	22,683,343	22,090,232	21,967,522	21,899,368	8,667,840	8,654,073
	未 払 解 約 金	3,039,687	6,883,650	7,535,590	3,848,302	2,039,027	18,082
	未 払 信 託 報 酬	1,552,014	1,467,047	1,580,104	1,349,177	1,095,058	1,066,478
	未 払 利 息	113	107	104	180	79	42
	そ の 他 未 払 費 用	272,691	257,708	277,568	237,002	192,360	187,415
(C) 純	資 産 総 額(A-B)	1,566,185,305	1,533,713,009	1,503,101,861	1,434,118,470	1,001,370,209	1,043,245,691
	元 本	4,536,668,658	4,418,046,469	4,393,504,574	4,379,873,741	4,333,920,106	4,327,036,517
	次 期 繰 越 損 益 金	△2,970,483,353	△2,884,333,460	△2,890,402,713	△2,945,755,271	△3,332,549,897	△3,283,790,826
(D) 受	益 権 総 口 数	4,536,668,658□	4,418,046,469□	4,393,504,574□	4,379,873,741□	4,333,920,106□	4,327,036,517□
	1 万口当たり基準価額(C/D)	3,452円	3,471円	3,421円	3,274円	2,311円	2,411円

(注1) 第49期首元本額は4,647,839,299円、第49～54期中追加設定元本額は164,303,465円、第49～54期中一部解約元本額は485,106,247円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第49期0.3452円、第50期0.3471円、第51期0.3421円、第52期0.3274円、第53期0.2311円、第54期0.2411円です。

(注3) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第49期2,970,483,353円、第50期2,884,333,460円、第51期2,890,402,713円、第52期2,945,755,271円、第53期3,332,549,897円、第54期3,283,790,826円です。

※本運用報告書作成時点において、本計算期間に係るファンド監査は終了しておりません。

■損益の状況

項 目	第 49 期	第 50 期	第 51 期	第 52 期	第 53 期	第 54 期
	自2019年10月26日 至2019年11月25日	自2019年11月26日 至2019年12月25日	自2019年12月26日 至2020年1月27日	自2020年1月28日 至2020年2月25日	自2020年2月26日 至2020年3月25日	自2020年3月26日 至2020年4月27日
(A) 配 当 等 収 益	45,321,553円	43,493,368円	43,867,794円	45,408,407円	22,469,869円	23,043,161円
受 取 配 当 金	45,324,637	43,495,759	43,872,131	45,409,736	22,473,294	23,045,125
受 取 利 息	-	-	-	-	-	23
支 払 利 息	△ 3,084	△ 2,391	△ 4,337	△ 1,329	△ 3,425	△ 1,987
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 24,349,948	△ 11,201,445	△ 42,138,585	△ 86,221,842	△ 429,959,804	30,320,089
売 買 益	148,267	1,006,614	267,171	213,684	3,913,452	30,437,393
買 損	△ 24,498,215	△ 12,208,059	△ 42,405,756	△ 86,435,526	△ 433,873,256	△ 117,304
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,824,705	△ 1,724,755	△ 1,857,672	△ 1,586,179	△ 1,287,418	△ 1,253,893
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	19,146,900	30,567,168	△ 128,463	△ 42,399,614	△ 408,777,353	52,109,357
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 1,573,621,859	△ 1,522,472,601	△ 1,491,496,244	△ 1,493,312,463	△ 1,524,804,178	△ 1,925,078,313
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,393,325,051	△ 1,370,337,795	△ 1,376,810,484	△ 1,388,143,826	△ 1,390,300,526	△ 1,402,167,797
(配 当 等 相 当 額)	(4,603,670)	(4,463,195)	(5,014,146)	(5,592,506)	(5,751,453)	(3,535,881)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,397,928,721)	(△ 1,374,800,990)	(△ 1,381,824,630)	(△ 1,393,736,332)	(△ 1,396,051,979)	(△ 1,405,703,678)
(G) 計 (D+E+F)	△ 2,947,800,010	△ 2,862,243,228	△ 2,868,435,191	△ 2,923,855,903	△ 3,323,882,057	△ 3,275,136,753
(H) 収 益 分 配 金	△ 22,683,343	△ 22,090,232	△ 21,967,522	△ 21,899,368	△ 8,667,840	△ 8,654,073
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 2,970,483,353	△ 2,884,333,460	△ 2,890,402,713	△ 2,945,755,271	△ 3,332,549,897	△ 3,283,790,826
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,397,928,721	△ 1,374,800,990	△ 1,381,824,630	△ 1,393,736,332	△ 1,396,051,979	△ 1,405,703,678
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,397,928,721)	(△ 1,374,800,990)	(△ 1,381,824,630)	(△ 1,393,736,332)	(△ 1,396,051,979)	(△ 1,405,703,678)
分 配 準 備 積 立 金	781,982,019	781,219,367	796,941,926	816,392,863	820,343,415	832,889,350
繰 越 損 益 金	△ 2,354,536,651	△ 2,290,751,837	△ 2,305,520,009	△ 2,368,411,802	△ 2,756,841,333	△ 2,710,976,498

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 第49期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (43,496,842円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (4,603,670円) および分配準備積立金 (756,564,850円) より分配対象収益は804,665,362円 (10,000口当たり1,773円) であり、うち22,683,343円 (10,000口当たり50円) を分配金額としております。

(注5) 第50期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (41,768,606円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (4,463,195円) および分配準備積立金 (757,077,798円) より分配対象収益は803,309,599円 (10,000口当たり1,818円) であり、うち22,090,232円 (10,000口当たり50円) を分配金額としております。

(注6) 第51期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (42,010,115円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (5,014,146円) および分配準備積立金 (771,885,187円) より分配対象収益は818,909,448円 (10,000口当たり1,863円) であり、うち21,967,522円 (10,000口当たり50円) を分配金額としております。

(注7) 第52期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (43,822,222円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (5,592,506円) および分配準備積立金 (788,877,503円) より分配対象収益は838,292,231円 (10,000口当たり1,913円) であり、うち21,899,368円 (10,000口当たり50円) を分配金額としております。

(注8) 第53期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (21,182,446円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (5,751,453円) および分配準備積立金 (802,077,356円) より分配対象収益は829,011,255円 (10,000口当たり1,912円) であり、うち8,667,840円 (10,000口当たり20円) を分配金額としております。

(注9) 第54期計算期間末における費用控除後の配当等収益 (22,501,723円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (3,535,881円) および分配準備積立金 (815,505,819円) より分配対象収益は841,543,423円 (10,000口当たり1,944円) であり、うち8,654,073円 (10,000口当たり20円) を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
1万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	20円	20円

（注1）分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

（注2）分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

（注3）分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

お知らせ

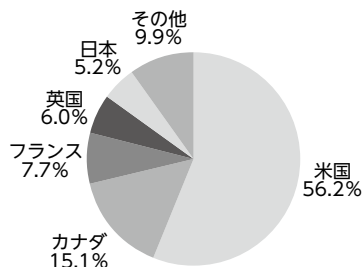
該当事項はございません。

■指定投資信託証券の運用状況

(注1) 指定投資信託証券の運用状況データは2020年3月31日現在のものです。本データは、TCWアセット・マネジメント・カンパニーからのデータを基に委託会社が作成したものです。

(注2) 各項目の比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

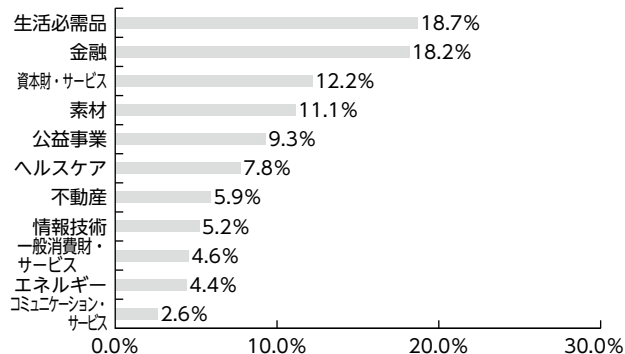
○国別構成比



(注1) 国は当該銘柄の本社所在国を示しています。

(注2) 保有株式の時価総額に対する割合です。

○業種別構成比



(注) 保有株式の時価総額に対する割合です。

○ポートフォリオ特性値

通貨ポジション 米ドル 100.0%

株式配当利回り 3.5%

	株式オプション部分	通貨オプション部分
カバー率	75.9%	95.6%
オプション・プレミアム (年率)	37.7%	7.2%
平均行使価格	88.8%	99.3%
平均行使期間	21.3日	33.9日

(注1) 配当利回りは組入れ銘柄(株式等)の加重平均配当利回り(実績配当ベース、税引前)です。

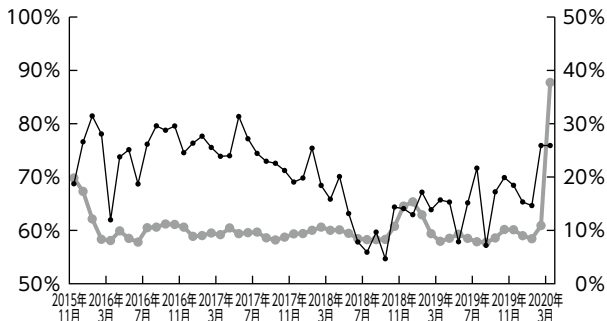
(注2) カバー率とは、保有資産に対するコール・オプションのポジションの割合です。

(注3) オプション・プレミアム(年率)は、カバードコール戦略におけるプレミアム収入を年率換算の上、当期末純資産残高で除して算出しています。

(注4) 平均行使価格とは、コールオプションの平均行使価格をオプション取引の対象となる原資産(株式・通貨等の価格)の平均時価に対する比率で示したものです。

株式カバードコール戦略

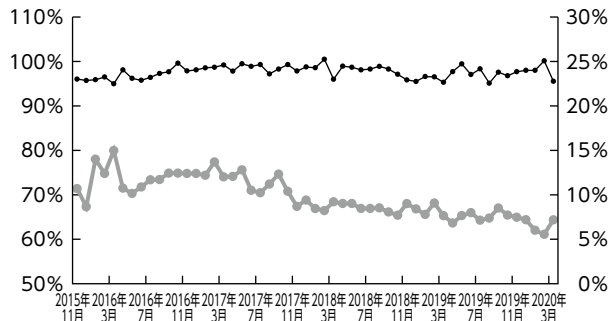
カバー率、オプション・プレミアム(年率)の推移



— カバー率(左軸) — オプション・プレミアム(右軸・年率)

通貨カバードコール戦略

カバー率、オプション・プレミアム(年率)の推移



— カバー率(左軸) — オプション・プレミアム(右軸・年率)

<指定投資信託証券の概要>

ファンド名	TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス
ファンド形態	ケイマン籍外国投資信託受益証券（円建て）
投資目的	インカムゲインの確保、オプション・プレミアムの獲得および値上がり益の最大化を目指します。
主な投資対象	<p>①日本を含む世界各国の取引所に上場されている株式等（預託証券（DR）、上場投資信託（ETF）および不動産投資信託（REIT）等を含みます。）に投資を行い、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目指します。また、インカムゲインの確保に加え、株式カバーコール戦略を活用し、オプション・プレミアムの獲得を目指します。</p> <p>②原則として、相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資を行います。なお、資産規模等により上記のような運用が困難な場合は、上場投資信託（ETF）を通じて株式カバーコール戦略を行うことがあります。</p> <p>③通貨カバーコール戦略を活用し、オプション・プレミアムの獲得を目指します。</p> <p>④上記のカバーコール戦略で獲得したオプション・プレミアムの一部を用いて、株価および投資対象通貨の対円での下落時における損失の一部軽減を目的として、株式および株価指数の上場プット・オプションおよび投資対象通貨のプット・オプションを購入する場合があります。</p>
主な投資制限	<p>①有価証券の空売りは行いません。</p> <p>②純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</p> <p>③投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、ファンドの純資産総額の5%以内とします。</p> <p>④流動性に欠ける資産への投資は行いません。</p>
投資顧問会社	TCWアセット・マネジメント・カンパニー
決算日	毎年3月31日

■中間損益計算書

(2019年4月1日から2019年9月30日まで)

TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラス

	(米ドル)
収益	
受取配当金	239,996
その他収益	0
収益合計	<u>239,996</u>
費用	
管理報酬	(69,507)
運用報酬	(60,566)
取引費用	(23,040)
弁護士費用	(15,652)
保管費用	(13,053)
受託費用	(12,501)
ファンド設立費用	(4,337)
その他費用	(674)
運営費用合計	<u>(199,330)</u>
純運用収益	40,666
実現損益および未実現損益	
実現損益	
金融資産評価損益	1,011,716
外国為替予約取引	(235,201)
外国為替取引	(13)
純未実現損益 (減価償却)	
金融資産評価損益	62,194
外国為替取引	52
オプション取引	0
純実現損益および純未実現損益	838,748
税引前純損益	879,414
税金	(57,178)
税引後純損益	<u>822,236</u>
期初純資産合計	18,192,612
税引後純損益	822,236
支払分配金	(2,585,822)
設定額	2,585,822
解約額	(4,303,051)
期中純資産増減額	<u>(3,480,815)</u>
期末純資産合計	<u>14,711,797</u>

(注1) () 内の金額はマイナスの金額です。

(注2) 上記内容は、TCWファンズ - TCWグローバル・ディビデンド・スターズ・プレミアム・ファンド カレンシー・プレミアム・シェアクラスの Semi-Annual Reportから抜粋し、委託会社が翻訳したものです。

■保有有価証券明細（2019年9月30日現在）

株式

銘柄名称	株数	評価額（米ドル）	構成比率（%）	国名
TOTAL SA-SPON ADR	13,100	681,200	4.63	France
GLAXOSMITHKLINE PLC SPONSORED ADR	13,800	588,984	4.00	United Kingdom
MEDTRONIC PLC	5,000	543,100	3.69	Ireland
UNILEVER NV	9,000	540,270	3.67	Netherlands
BANK OF MONTREAL	7,000	516,250	3.51	Canada
CHUBB LTD	3,100	500,464	3.40	Switzerland
CANON INC	19,045	508,502	3.46	Japan
TARGET CORP	4,600	491,786	3.34	United States
CANADIAN IMPERIAL BANK OF COMMERCE	5,900	487,104	3.31	Canada
FORTIS INC/CANADA	11,260	476,636	3.24	Canada
FEDERAL REALTY INVESTMENT TRUST	3,300	449,262	3.05	United States
LINDE PLC	2,260	437,807	2.98	Ireland
CINCINNATI FINANCIAL CORP	3,360	392,011	2.66	United States
SYSCO CORP	4,500	357,300	2.43	United States
PENTAIR PLC	9,465	357,777	2.43	United Kingdom
MCDONALD'S CORP	1,600	343,536	2.34	United States
FRANKLIN RESOURCES INC	11,700	337,662	2.30	United States
COLGATE-PALMOLIVE CO	4,600	338,146	2.30	United States
EMERSON ELECTRIC CO	5,000	334,300	2.27	United States
AT&T INC COMMON STOCK	8,635	326,748	2.22	United States
AFLAC INC	6,140	321,245	2.18	United States
T ROWE PRICE GROUP INC COM	2,700	308,475	2.10	United States
CONSOLIDATED EDISON INC COM	3,300	311,751	2.12	United States
SANOBI-ADR	6,500	301,145	2.05	France
WAL-MART STORES INC	2,500	296,700	2.02	United States
SOUTHERN CO COM	4,800	296,496	2.02	United States
ILLINOIS TOOL WKS INC COM	1,800	281,682	1.91	United States
LOWES COS INC COM	2,500	274,900	1.87	United States
CINTAS CORP	1,000	268,100	1.82	United States
MCCORMICK & CO INC/MD	1,700	265,710	1.81	United States
AIR PRODS & CHEMS INC COM	1,170	259,576	1.76	United States
NUCOR CORP	5,100	259,641	1.76	United States
LEGGETT & PLATT INC	6,300	257,922	1.75	United States
CLOROX CO/THE	1,700	258,179	1.75	United States
COCA-COLA CO/THE COMMON STOCK	4,655	253,418	1.72	United States
VW GRAINGER INC	750	222,863	1.51	United States
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	400	219,948	1.50	United States
EXXON MOBIL CORP	3,000	211,830	1.44	United States
BANK OF NOVA SCOTIA/THE	7,000	426,375	2.90	Canada
STANLEY BLACK & DECKER INC	1,430	206,506	1.40	United States
株式合計		14,511,307	98.64	

株式オプション取引

銘柄名称	数量	評価額 (米ドル)	構成比率 (%)	国名
TOTAL SA-SPON ADR	10,500	(1,050)	(0.01)	France
GLAXOSMITHKLINE PLC SPONSORED ADR	12,400	(13,640)	(0.09)	United Kingdom
MEDTRONIC PLC	3,800	(3,876)	(0.03)	Ireland
UNILEVER NV	6,800	(7,650)	(0.05)	Netherlands
BANK OF MONTREAL	5,600	(2,520)	(0.02)	Canada
CHUBB LTD	2,000	(6,700)	(0.05)	Switzerland
CANON INC	8,900	(18,468)	(0.13)	Japan
TARGET CORP	3,500	(3,325)	(0.02)	United States
CANADIAN IMPERIAL BANK OF COMMERCE	3,800	(760)	(0.01)	Canada
FORTIS INC/CANADA	8,500	(26,563)	(0.18)	Canada
FEDERAL REALTY INVESTMENT TRUST	2,000	(4,950)	(0.03)	United States
LINDE PLC	1,700	(1,955)	(0.01)	Ireland
CINCINNATI FINANCIAL CORP	2,400	(7,140)	(0.05)	United States
SYSCO CORP	3,400	(2,295)	(0.02)	United States
PENTAIR PLC	7,100	(3,728)	(0.03)	United Kingdom
MCDONALD'S CORP	1,200	(3,372)	(0.02)	United States
FRANKLIN RESOURCES INC	7,000	(1,575)	(0.01)	United States
COLGATE-PALMOLIVE CO	3,500	(6,405)	(0.04)	United States
EMERSON ELECTRIC CO	3,800	(9,975)	(0.07)	United States
AT&T INC COMMON STOCK	6,500	(6,338)	(0.04)	United States
AFLAC INC	4,600	(1,426)	(0.01)	United States
T ROWE PRICE GROUP INC COM	1,800	(2,745)	(0.02)	United States
CONSOLIDATED EDISON INC COM	2,500	(6,563)	(0.04)	United States
SANOFI-ADR	4,500	(4,613)	(0.03)	France
WAL-MART STORES INC	1,600	(1,800)	(0.01)	United States
SOUTHERN CO COM	3,100	(1,674)	(0.01)	United States
ILLINOIS TOOL WKS INC COM	1,400	(5,740)	(0.04)	United States
LOWES COS INC COM	1,600	(648)	(0.00)	United States
CINTAS CORP	700	(2,695)	(0.02)	United States
MCCORMICK & CO INC/MD	1,300	(1,885)	(0.01)	United States
AIR PRODS & CHEMS INC COM	900	(1,035)	(0.01)	United States
NUCOR CORP	3,300	(1,122)	(0.01)	United States
LEGGETT & PLATT INC	4,700	(1,763)	(0.01)	United States
CLOROX CO/THE	1,400	(3,535)	(0.02)	United States
COCA-COLA CO/THE COMMON STOCK	3,500	(1,383)	(0.01)	United States
VW GRAINGER INC	500	(925)	(0.01)	United States
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	300	(2,565)	(0.02)	United States
EXXON MOBIL CORP	2,000	(150)	(0.00)	United States
STANLEY BLACK & DECKER INC	1,000	(4,350)	(0.03)	United States
株価オプション取引合計		(178,902)	(1.22)	

(注) () 内の数値はマイナスの数値です。

通貨オプション取引

銘柄名称	数量	評価損益 (米ドル)	構成比率 (%)
JPY Put USD Call @ 106.00 OTC Opt	14,400,000	(152,078)	(1.03)
通貨オプション取引合計		(152,078)	(1.03)

(注) () 内の数値はマイナスの数値です。

あおぞら・マネー・マザーファンド

第6期

決算日 2020年3月16日

(計算期間：2019年3月16日～2020年3月16日)

「あおぞら・マネー・マザーファンド」は、2020年3月16日に第6期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、本マザーファンドの第6期の運用状況をご報告申し上げます。

ファンド名	あおぞら・マネー・マザーファンド
ファンド形態	親投資信託
投資目的	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	①株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債を転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。）を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ②投資信託証券への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ③外貨建資産への投資は行いません。
委託会社	あおぞら投信株式会社
決算日	毎年3月15日

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
第2期 (2016年3月15日)	円 10,001	% 0.0		% -	百万円 100
第3期 (2017年3月15日)	9,992	△0.1		-	100
第4期 (2018年3月15日)	9,982	△0.1		-	100
第5期 (2019年3月15日)	9,972	△0.1		-	100
第6期 (2020年3月16日)	9,962	△0.1		-	99

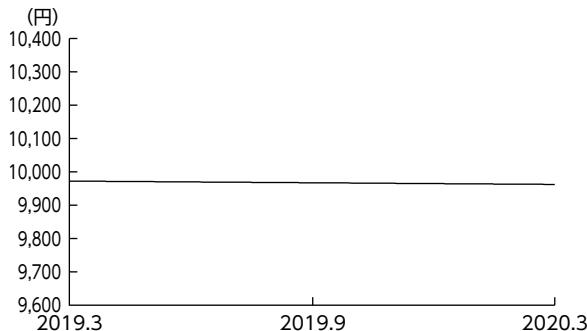
■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比	券 率
(期 首) 2019年3月15日	円 9,972	% -		% -
3月末	9,972	0.0		-
4月末	9,971	△0.0		-
5月末	9,970	△0.0		-
6月末	9,969	△0.0		-
7月末	9,968	△0.0		-
8月末	9,968	△0.0		-
9月末	9,967	△0.1		-
10月末	9,966	△0.1		-
11月末	9,965	△0.1		-
12月末	9,964	△0.1		-
2020年1月末	9,963	△0.1		-
2月末	9,963	△0.1		-
(期 末) 2020年3月16日	9,962	△0.1		-

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過 (2019年3月16日～2020年3月16日)

基準価額の推移 (2019年3月16日～2020年3月16日)



基準価額の主な変動要因

本マザーファンドの基準価額は、当期末において9,962円になりました。期中を通じて日銀のマイナス金利政策が継続し、短期金融市場での利回りがマイナスで推移したことから、基準価額が下落しました。

投資環境

2016年1月29日の日銀金融政策決定会合においてマイナス金利を導入したことから、無担保コール翌日物が-0.05%前後の水準で推移すると同時に、国庫短期証券(3ヵ月物)の利回りも-0.35%~-0.05%で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオ

本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いました。主要投資対象となっていた第336回利付国債(2年)が2016年1月に償還を迎えた後、有担保コール翌日物および金銭信託による運用を続けてきましたが、当期末時点では有担保コール翌日物が主要投資対象となっています。

今後の運用方針

今後も当初の運用方針に従い、引き続き、本邦通貨表示の短期公社債等を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2019年3月16日から2020年3月16日まで)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	円 0	% 0.000	(a) その他費用 = $\frac{[\text{期中のその他費用}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]}$ 期中の平均基準価額は9,967円です。 金銭信託にかかる手数料
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年3月16日から2020年3月16日まで)

(1) 利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期における売買委託手数料の支払いはありません。

■ 組入資産の明細 (2020年3月16日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成

2020年3月16日現在

項 目	当 期		末	
	評 価	額	比	率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他		千円		%
		99,913		100.0
投 資 信 託 財 産 総 額		99,913		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年3月16日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	99,913,606円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	99,913,606
(B) 負 債	698
未 払 解 約 金	425
未 払 利 息	273
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	99,912,908
元 本	100,291,649
次 期 繰 越 損 益 金	△ 378,741
(D) 受 益 権 総 口 数	100,291,649口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	9,962円

(注1) 第6期首元本額は100,292,514円、期中追加設定元本額は0.0円、期中一部解約元本額は865円です。

(注2) 1口当たり純資産額は0.9962円です。

(注3) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は378,741円です。

(注4) 期末における元本の内訳

あおぞら・マネーファンド (適格機関投資家専用)	99,991,658円
あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	100,000円
あおぞら・短期ハイ・イールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	100,000円
あおぞら・世界配当成長株ベガ・ファンド (毎月分配型)	99,991円

※本マザーファンドは監査対象ではありません。

■損益の状況

自2019年3月16日 至2020年3月16日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△100,002円
支 払 利 息	△100,002
(B) 信 託 報 酬 等	△ 301
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△100,303
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△278,442
(E) 解 約 差 損 益 金	4
(F) 計 (C+D+E)	△378,741
次 期 繰 越 損 益 金(F)	△378,741

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はありません。